



日本農福連携協会

〈役員〉

代表理事	榊原 典俊 (社会福祉法人 青葉仁会)
会長理事	皆川 芳嗣
副会長理事	村木 厚子
理事	中村 隆重 (社会福祉法人 白鳩会)
理事	宮嶋 望 (農事組合法人 共働学舎新得農場)
理事	熊田 芳江 (社会福祉法人 こころん)
理事	新井 利昌 (埼玉福興株式会社)
理事	小池 邦子 (全国社会就労センター協議会)
理事	國松 繁樹 (一般社団法人 日本基金)
監事	雨宮 元美 (労働保険事務組合 ティグレ東京)
監事	名越 秀夫 (インテックス法律特許事務所)
顧問	濱田 健司 (一般社団法人 JA共済総合研究所)

〈所在地〉

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-4 大京ビル松住町別館401号
Tel:03-5295-0070

〈会員〉

○福祉事業所/.....	33
○農業法人.....	6
○企業.....	9
○自治体.....	7
○個人.....	12
○その他団体.....	12
	計79

〈沿革〉

平成28年3月
全国農福連携推進協議会(任意団体)設立

平成30年11月法人化・名称変更
一般社団法人 日本農福連携協会 設立

日本農福連携協会は、農福連携の課題や解決策を広く検討・協議し、連携・協力し合うことにより農福連携の推進を図ります。

日本農福連携協会が取り組む様々な事業を通じて、障がい者等の社会参画を進め

農林水産業の分野では、地域で様々な人材が持つ多様な能力が発揮されるべく支援することにより、

全ての人々が生きがいを感じることができる共生社会を創出します。

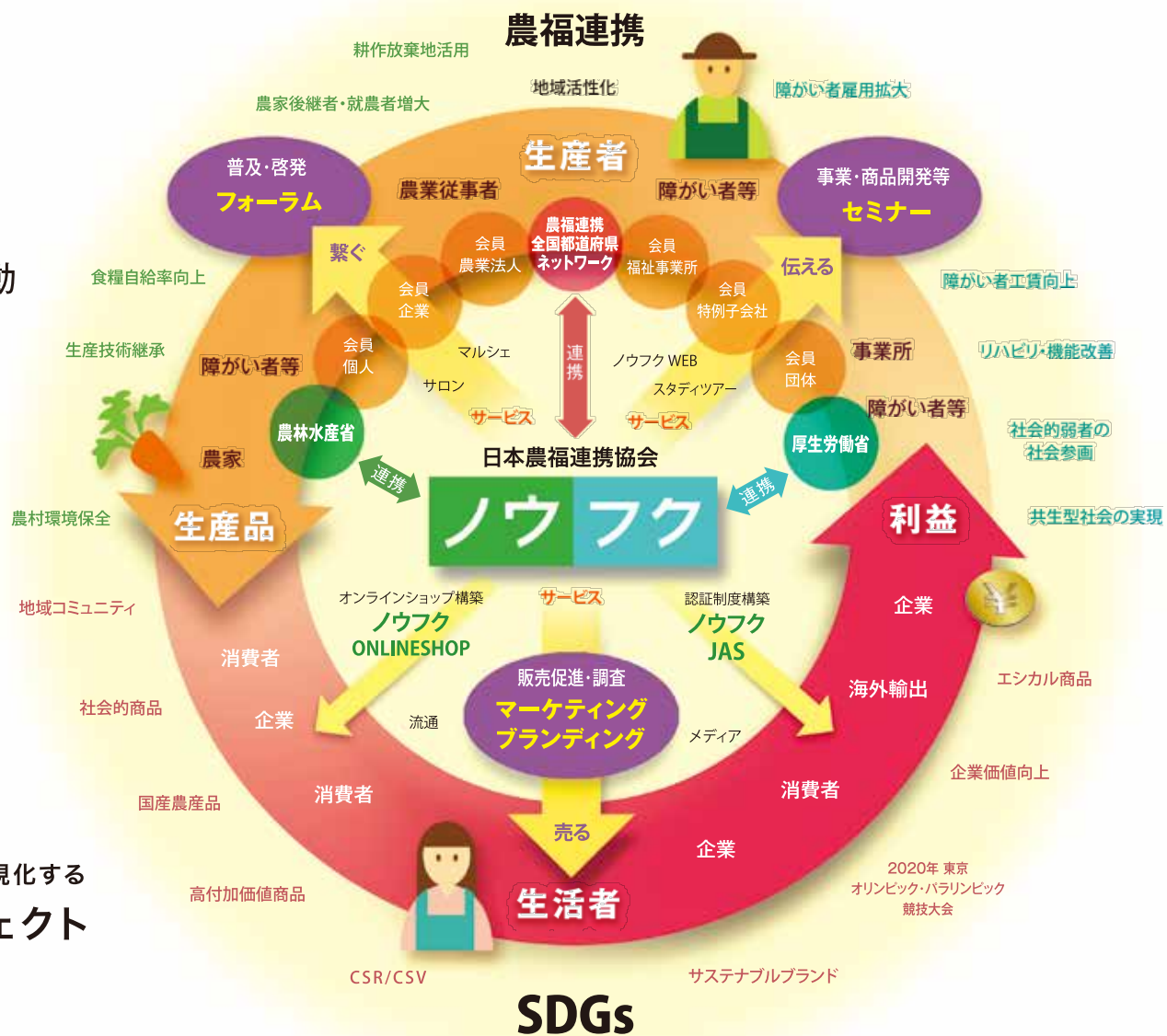
「多様な人材を包摂する社会の実現」、「地域農林水産業・コミュニティの維持・発展」、「障害者や働く人の人権を守る」等に

つなげていくことを目的としています。



- ① 農福連携の普及啓発活動
(フォーラム、情報発信等)
- ② 農福連携推進のための勉強会開催
(セミナー、研修会等)
- ③ 農福連携の販売促進及び販路開拓活動
(ノウフク・オンラインショップ等運営管理)
- ④ 農福連携のサステナブルブランド化
(ノウフクJAS普及啓発)
=SDGs

持続可能な共生社会を具現化する
ノウフク プロジェクト
〈全体図〉



SDGs

平成30年度事業実績

【省庁間勉強会の開催】

- 実施日:平成30年5月17日(木)
- 参加者:農水省、厚生労働省、法務省、環境省および協議会関係者計25名

【農福連携スタディーツアーの実施】

- 実施日:平成30年7月18日(水)
- 参加者:合計27名
(農林水産省、厚生労働省、法務省、環境省、内閣府、中央共同募金会、メディア関係者、および事務局より ※H29年度は14名の参加)
- 見学先:①「アスタネ」(就労移行支援A型事業所)
②「しびらき」(障害者支援施設)

【ノウフクサロンの実施】

- 実施日:平成30年9月22日(土)
- 参加者:宮崎・長野・山梨・青森・宮城・福島県より合計29名
- 会場:「PUBLIC CULTURE」(ティアラ21)

【農福連携講習会】in 熊谷

- 実施日時:平成30年9月22日(土) 13:00~18:00 ※18:30~交流会
- 会場:立正大学 熊谷キャンパス
- 主催:全国農福連携推進協議会
- 共催:立正大学
- 講師:武田 泰明氏、吉田 行郷氏、熊田 芳江氏、新井 利昌氏、小淵 久徳氏
- 参加者:52名(土)

【ノウフクマルシェ】

- ノウフクマルシェ③ [第60回 全国矯正展]
- ノウフクマルシェ④ [第7回 東京拘置所矯正展]
- 実施日:[第60回 全国矯正展]:平成30年6月1日(金)~2日(土)
[第7回 東京拘置所矯正展]:平成30年9月29日(土)
- 参加者:[春]7事業所 [夏]5事業所 が参加
- ノウフクマルシェ⑤ [熊谷圏オーガニックフェス 2018]
- 実施日:平成30年9月23日(日)
- 会場:熊谷スポーツ文化公園
- 参加者:全国より6事業所が参加
- ノウフクマルシェ⑥ [第29回全国車いす駅伝競走大会]
- 実施日:平成30年3月11日(日)
- 主催:全国車いす駅伝競走開会実行委員会
- 参加事業所:全国より11事業所が参加
- 会場:京都市西京極総合運動公園陸上競技場

ノウフクマルシェ⑦

- [第1回パラ・パワーリフティング チャレンジカップ京都]
- 実施日:平成30年5月12日(土)~13日(日)
- 主催:日本パラ・パワーリフティング協会 共催:全国農福連携推進協議会

ノウフクフォーラム



ノウフクフォーラム/2017年3月8日・日比谷コンベンションホール



ノウフクマルシェ



【熊谷圏オーガニックフェス /2018年9月

ノウフクスタディーツアー



しびらき/2018年7月



キタミ・クリーンファーム/2017年7月

ノウフクセミナー



【農福連携講習会】in 熊谷 /2018年9月

ノウフクサロン



群馬県/2017年8月



2017年9月2~3日・京都マルイ



矯正展/2018年9月

ノウフク オンラインショップ

ノウフクオンラインショップは、日本農福連携協会の正会員から選りすぐりの逸品を集めたオンラインショップです。
ノウフク商品はもちろん、各出店事業所の紹介ページもあり、商品の背景や作り手の想いも感じて頂きながら楽しく安心してお買物できるオンラインショップです。
ノウフク オンラインショップは、生産者と生活者を直接つなげる役割と、ノウフクブランドの価値を高めるために誕生しました。
日本農福連携協会会員の皆さまのご要望である、新しい販路の一つとして、ご活用頂いています。

ノウフク WEB

日本農福連携協会では、全国の農福連携の取り組みやイベントなどの情報を、広く一般にホームページで発信しています。
農福連携に関するご案内やご相談など、双方向にコミュニケーションできるWEBプラットフォームとして機能しています。
また、日本農福連携協会会員に向けてメールマガジンを配信し、農福連携の普及・啓発に努めています。

ノウフク オンラインショップ/ホームページ



事業所紹介ページ



商品紹介ページ



ノウフク JAS

多様な人が一緒に
働ける仕組みを
評価するための規格です
様々な人が共に働く
「ノウフク」を、
日本発ブランドとして
世界に→SDGs

農林水産省
食料産業局

障害者が生産行程に携わった食品のJASについて

現 状

- 農業分野での障害者の就労を支援し、農業の担い手不足・農地荒廃、障害者の就労先不足・工賃の低さなど農業・福祉における諸課題の解消につながる「農福連携（ノウフク）」の取組が推進。
- 国際連合では、SDGsの目標の一つとして、全ての人に対して働きがいのある人間らしい仕事を推進することを設定。SDGsに注目が集まる中、東京オリンピック・パラリンピックの食料調達基準でも「障害者が主体的に携わって生産された食品」の使用が推奨。
- 一方、「農福連携（ノウフク）」の取組が農業者や消費者に広く認知されていない状況。

規格の概要

- 障害者が携わって生産した農林水産物及びこれらを原材料とした加工食品について、その生産方法及び表示の基準を規定。

効 果

- JASにおける第三者認証制度により、障害者が携わった食品の信頼性が高まり、人や社会・環境に配慮した消費行動（エシカル消費）を望む購買層に対する訴求力が増大。
- このことにより、障害者が生産行程に携わった食品のJASが「農福連携（ノウフク）」の普及を後押しし、農業・福祉双方の諸課題解決ツールとして期待。

障害者が生産行程に携わった食品のJASの概要 (生産方法) 農林水産省 食料産業局

ノウフク生鮮食品

- 障害者が主要な生産行程に携わっていること。
 - 農産物の行程例
育苗, は種, 定植, 追肥施肥
除草, 収穫, 調整, 出荷等

例 障害者が除草、収穫に携わった場合 (いちご)

認証事業者に求められる基準

活動計画の作成
①農業及び地域に対する活動、②障害者の賃金向上の活動 等

障害者が作業しやすい環境の創出
①わかりやすい手順書、②差別排除、③事故防止、④バリアフリー 等

管理
①作業記録作成、②内部監査、③マネジメントレビュー 等

- 消費者等から問合せがあった場合、障害者が携わった生産行程を情報提供すること。

回答イメージ

このいちごは除草と収穫の作業に障害者が携わりました。

作業記録

- 定植 ○
- 除草 ○
- 収穫 ○
- 調整 ○

ノウフク加工食品

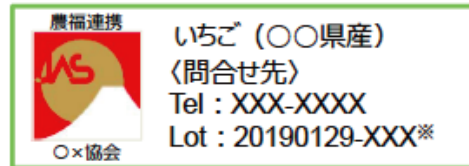
- ノウフク生鮮食品を、1種類以上使用すること。
- 原材料に使用するノウフク生鮮食品について、他のものが混ざらないよう区分して管理すること。

障害者が生産行程に携わった食品のJASの概要 (表示)

農林水産省
食料産業局

ノウフク生鮮食品

- 次の事項を、ノウフク生鮮食品、包装・容器若しくは送り状又は製品に近接した掲示その他の見やすい場所に表示すること。
 - (1) “ノウフク”という用語
 - (2) ノウフクの説明



※作業記録を特定するために識別番号



ノウフク加工食品

- 次の事項を、包装・容器に表示すること。
 - (1) “ノウフク”という用語
 - (2) ノウフクの説明
 - (3) ノウフク生鮮食品を原材料に使用している旨
 - (4) 原材料にノウフク生鮮食品と同一種類のものを使用した場合は、ノウフク生鮮食品の重量割合を表示すること。

